

電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.26 -



令和2年11月30日(月)配信

<掲載内容>

	頁
1 教育研修員研修の紹介	1
2 「ぐんまの子供のためのオンライン学習支援サイト」を開設しました!	3
3 一人一台端末の導入に向けて～オンライン研修～	4
4 早期からの教育相談・支援体制の構築について	5
5 幼保こ小連携・接続に関するリーフレット 『幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に向けて』	6
6 教育相談技術認定について	7
7 総合教育センターへ来所される方へ	8

* 編集後記 *

教育研修員研修の紹介

教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研修を通して、教員の資質向上を図るとともに、本県幼児、児童生徒の学力向上と健全育成に資することを目的としています。

長期研修員

長期研修では、国の動向や県教育委員会の指導方針を踏まえ、教育課題の解決に向けた研究及び研修を行っています。本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導力や助言力を高めるとともに、研究協力校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成しています。

今年度は19名（小学校10名、中学校6名、高等学校2名、特別支援学校1名）が、各教科、道徳、特別支援教育、小学校プログラミング教育、外国人児童生徒等への日本語教育、高校教育の改善について研究を進めています。

【研修員のコメント】



「高校教育の改善」という大きなテーマのもと、今年度は特に指導と評価の一体化に係る研究を進めています。研究を進めていく上で知り得た情報は、その都度ぐんま高校教育新聞を通して、県内の高校に発信しています。研究の成果を少しでも分かりやすく還元し、先生方の役に立つことができるよう、日々研修に励んでいます。

県立館林女子高等学校 石井 千裕



外国人児童生徒等への日本語教育について、チームで研究を進め、「外国人児童生徒等受入れと指導ガイドブック」を作成しています。今後、更なる外国人児童生徒等の増加が見込まれる中、外国人と日本人の児童生徒の共生を目指す教育の充実に向けて、少しでも教職員の皆様のお役に立てるよう頑張ります。

安中市立原市小学校 中山 繭美



小学校プログラミング教育の研究を進めています。理科の「ものづくり」にプログラミングの体験を取り入れた教材を開発しています。新しい研究分野なので、新たな発見も多く、楽しみながら研究を進めています。先生方がすぐに使える教材、子供たちが楽しく主体的に学べる教材を開発できるように頑張ります。

桐生市立菱小学校 松井 繁典

長期社会体験研修員

長期社会体験研修では、一年間、県内の企業において業務に取り組み、各企業の組織運営や人材育成などについて研修を行っています。また、キャリア教育を推進するための授業や校内研修を、研究協力校において実践しました。今年度は5名（中学校2名、高校3名）が各企業で研修しています。



株式会社群馬銀行の人事部人材開発室に所属し、社員の成長を促す施策を企画・検討したり研修を運営したりといった業務に取り組んでいます。企業でも新学習指導要領と同様、「仕事に向かう力」を重視し、社員一人一人の主体性を育む支援に力を入れています。研究協力校では、ICTを活用しながら「学びに向かう力」に焦点を当てた授業を実践しました。

伊勢崎市立第三中学校 山中 英史



有限会社高崎クエイルにて、うずら飼育、卵の生産、卵の加工・販売などに携わっています。うずらという生き物を相手に仕事をする難しさ、六次産業化した業務の幅広さを体験し、人が生きていくために必要な職業“農業”の大切さを改めて実感いたしました。研修内容を生かし、生徒に働くことへの責任や、自分の能力をどう生かしていくかを伝えることを目標に授業を実践しました。

県立勢多農林高等学校 澁澤 遼子

特別研修員

特別研修では、年間25日の研修日に講話、講義・演習、班別協議等に取り組み、研究協力校・園での授業・保育実践等を通して、指導方法や評価方法の改善に資する研究及び研修を行っています。今年度はコロナ禍のため、センターでの研修が9月から開始となり、可能な範囲での授業・保育公開となりましたが、43名（小学校21名、中学校11名、高校8名、特別支援学校1名、幼稚園2名）が教職員の教科等の指導力向上に寄与すべく、授業・保育公開を行いました。



講義・演習の様子



模擬授業の様子

<研修員のコメント>

- ・様々な教育情報の講義や演習などの機会をいただき、スキルアップにつながりました。
- ・模擬授業や協議を通して、客観的な目で指導方法や評価方法について、考えを深めることができました。
- ・研修で学んだことを校内での研修や若手教員への助言などに生かすことができました。

教育研修員の過去の報告書はこちら [【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=192】](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=192)

「ぐんまの子供のためのオンライン学習支援サイト」を開設しました！

群馬県総合教育センターのホームページに「ぐんまの子供のためのオンライン学習支援サイト」を開設し、子供たちや教職員がアクセスしやすい環境を作りました。サイトには、学習教材動画や学習支援に役立つ資料等を掲載しています。是非、サイトにアクセスしてご覧いただき、授業や教材作りに活用してください。



群馬県総合教育センターのトップページ
[【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/】](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/)

IDとパスワードを入力
 (配布済)



配布チラシ

ぐんまの子供のための オンライン学習支援サイト



サイトのトップページ

休校中の学び直し動画

(群馬県教育委員会)

小学生・中学生向けオンラインサポート授業動画のページへ

小学生用コンテンツ



中学生用コンテンツ



学年、教科、単元や内容ごとに整理された学習教材動画のページへ (特定教科にはページの最後にオンラインサポート授業動画があります)

高校生用コンテンツ



教科ごとの授業動画のページへ

全国学力学習状況調査解説

全国学力・学習状況調査問題活用のための児童生徒向けサポート動画のページへ

NHK for School (リンク)

(「ばんぐみ」や「クリップ」から見たい学年や教科の動画を選ぼう)

NHK for Schoolのサイトへ

子供の学び応援サイト (リンク)

(文部科学省)

文部科学省の「子供の学び応援サイト～学習支援コンテンツポータルサイト～」へ

先生方のためのリンク集



- ・群馬県 教育研修員研修報告書
- ・NIER 国立教育政策研究所
- ・NITS 独立行政法人教職員支援機構
- ・全国学力学習状況調査分析(群馬県R1年度)

【動画等は随時追加されます】

一人一台端末の導入に向けて～オンライン研修～

現在、県立学校や各市町村で、GIGAスクール構想の実現に向けて準備が進んでいます。総合教育センターでは、各学校における一人一台端末の導入に向けた、オンライン研修を行っています。

一人一台端末の導入に向けたWebセミナー

一人一台端末を導入する時、導入時に考えること、運用時に起きることとその対策、必要な情報モラル教育について、具体的な事例を挙げながら、今後の準備の参考になる講話をいただきました。

【導入編】 福田 孝義 氏

佐賀未来塾ICT活用教育研究所代表、文部科学省 ICT活用教育アドバイザー

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=CcrLQ7paegU>

【運用編】 大塚 輝 氏

株式会社内田洋行

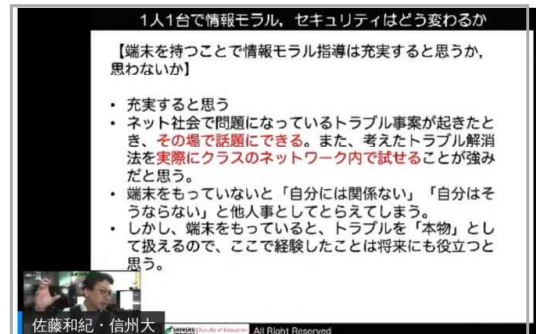
URL=<https://www.youtube.com/watch?v=RLrIPDPx-Yo>

【モラル編】 佐藤 和紀 氏

信州大学学術研究院教育学系・助教

文部科学省 ICT活用教育アドバイザー

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=rtKwQqenK9s>

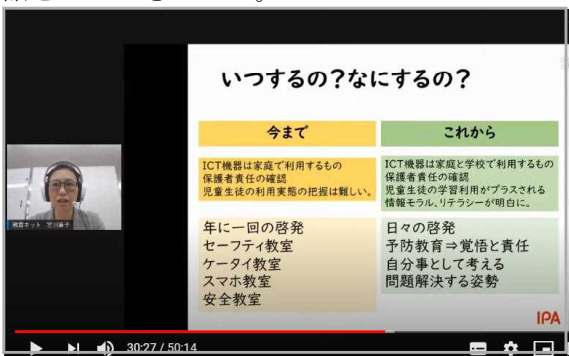


受講者の声

今後の導入に向け、考えておかないといけない事項を知ることができました。ハイブリッドな授業をしていくために、私たち自身がデジタルで何ができるのかを知る必要があると強く感じました。

一人一台端末導入に向けたIPAインターネット安全教室

一人一台端末の導入に向けて、インターネットの安全利用について指導するために、必要な知識や校種別の指導のポイントについて、株式会社教育ネットの安川麻子氏より、実践的で分かりやすい講話をいただきました。



【小学校 低学年～中学年向け】

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=Pb0sJy0IFek>

【小学校 高学年向け】

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=z1Cv97DmEsI>

【中学校・高校向け】

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=HUGMPaV9LU>

【特別支援学校向け】

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=L1SSwK1tNwo>

受講者の声

子供たちが授業用タブレットを持つ前の今から、自分事として捉えさせる為に、情報モラルについて日常的に伝えていかなければならないと感じました。

今後も、松田孝氏（合同会社MAZDA Incredible Lab CEO）による「令和の日本型学校教育に関する講演」や、佐藤和紀氏（信州大学）による一人一台端末の実践的な活用についてのオンライン研修を予定しております。

幼保こ小連携・接続に関するリーフレット 『幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に向けて』

幼児教育センターでは、調査研究の結果を基にリーフレットを作成し、県内の幼児教育施設及び小学校に電子メールで配布しました。また、幼児教育センターのWebページにも掲載しましたので、是非、御覧ください。

リーフレットの概要

◆◆ 1～2ページ 課題解決のヒント集 ◆◆

群馬県における「幼保こ小の連携・接続」に関する課題

- ・課題1：保育及び授業公開の実施率向上と様々な立場の教職員による参観
- ・課題2：相互理解を図るための合同研修会や保育・授業研究会の実施及び参加の促進と充実
- ・課題3：接続期の教育課程の編成及び実施の推進

課題1

保育及び授業公開や、参観を実施するに当たってのヒントとポイントを掲載

課題2

研修会・研究会の実施に向けてのヒントとポイントを掲載



課題3

接続期の教育課程の編成及び実施に向けてのヒントとポイントを掲載



◆◆ 3～4ページ 先生方の疑問・質問に答えるQ & A ◆◆

＜以下の質問に答えています＞

- * 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(以下「10の姿」とは？
- * 「10の姿」を踏まえ教育課程を編成するとは？
- * 「10の姿」を「踏まえて」「念頭に置いて」「考慮する」とは？
- * 「10の姿」を活用する際の留意点は？
- * 「10の姿」と「修了時の姿」の違いは？
- * 「修了時の姿」を指導要録と一緒に小学校に送付するのはなぜ？



幼児教育施設・小学校の先生方に御活用いただき、滑らかな連携・接続に向けて、お役立ていただければ幸いです。

ご不明な点は電話又はメールでお問い合わせください。

TEL 0270-26-9203 (幼児教育センター直通)

E-mail youji@edu-g.gsn.ed.jp

※詳しくは、Webページをご覧ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74 】

教育相談技術認定について

教育相談技術認定制度は、昭和43年に創設され、半世紀となる歴史をもつ群馬県独自のものです。様々な課題や悩みを抱える子供たちや保護者との関わりにおいて、教育相談の考えを学んで信頼関係づくりに生かしていきませんか。

教育相談技術認定には、初級、中級、上級があります。

- 初級・・・生徒指導・教育相談の基礎的な理論・技術を習得している者。
- 中級・・・基礎を踏まえて専門的な理論・技術を習得している者。
- 上級・・・生徒指導・教育相談を校内の指導的立場で実践をしている者。

毎年、多くの教職員の方から、初級及び中級の申請があります。中級取得後、指導的立場で活躍されている方々は、是非、上級取得を御検討ください。令和2年度教育相談技術認定の日程等は以下のとおりです。

令和2年度 群馬県教育研究所連盟 教育相談技術認定

目的

学校（幼稚園、幼保連携型認定こども園を含む）及び教育研究所における教職員の生徒指導・教育相談技術の向上を図り、もって教育課題の解決に資する。

申請資格

申請資格は、各級の①と②の要件を満たす者とする。

(1) 初級

- ① 学校又は教育研究所の教職員として2年以上の勤務経験を有する者
- ② 「教育相談初級研修」をすべて受講している者

(2) 中級

- ① 初級の認定後、学校又は教育研究所の教職員として3年以上の勤務経験を有する者
- ② 「教育相談中級研修」をすべて受講している者

(3) 上級

- ① 中級の認定後、学校又は教育研究所の教職員として3年以上の勤務経験を有する者
- ② 次のア～ウを合計して3年以上の経験年数を有する者
 - ア 生徒指導担当、教育相談担当の経験
 - イ 教育研究所における相談業務（年間を通して週1回以上行ったもの）の経験
 - ウ 群馬県総合教育センター及び教育研究所における生徒指導・教育相談研修の講師・指導助言の経験（年1回以上の経験を年度ごとに1年とする）

申請期間及び締切日

(1) 持参する場合

- ・ 申請期間 令和2年12月2日（水）・3日（木）
- ・ 受付時間 10:00～17:00

(2) 郵送する場合

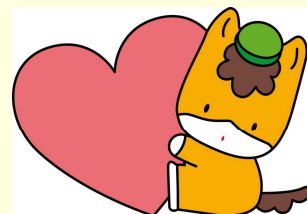
- ・ 令和2年12月3日（木）必着

申請書について

申請書は、当センターWebページからダウンロードして、使用してください。

【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=383 】

また、各教育研究所及び各校・園に配布した実施要項をコピーして、使用していただくこともできます。



是非、教育相談技術認定の申請を御検討ください。多くの方々の申請をお待ちしています。

防寒対策のお願い

晩秋から冬にかけて、厳しい寒さが予想されます。

研修等暖房は気候に応じ調整しますが、来所される際は温度調節が可能な服装（上着、ひざ掛け等持参）でお越しください。

交通事故防止にご協力を

当センターには、毎日多くの方が車で来所し、駐車場を利用されます。

特にこれからの時期は、日暮れが早くなり見通しが悪くなりますので、センターへの出入り及び敷地内を走行する際は、車だけでなく歩行者にも注意していただき、交通事故防止に御協力をお願いします。

* 編集後記 *

早いもので、今年も、残すところ一ヶ月となりました。今年は新型コロナウイルス感染症が発生し、各学校・園では、臨時休業・休園や夏休みの短縮、ソーシャルディスタンスを保った新しい生活様式の中での学校や園での生活等、これまでにないことに対応してきた一年だったと思います。当センターでも、8月までの研修が一部を除いて中止となりました。9月から再開した研修では、体温測定や健康状態申告書の提出、研修室の定員の削減、複数の研修室に分かれてのサテライト研修、換気や研修後の消毒等、感染拡大防止に努めてきました。今後も、皆様に安心して質の高い研修を受けていただくために、研修の内容を更に検討し、オンラインでの研修を増やすなどの研修方法等の工夫を図っていきたいと思います。

さて、今回お届けする電子版センターだより26号では、「教育研修員研修の紹介」「ぐんまの子供のためのオンライン学習支援サイトについて」「早期からの教育相談・支援体制の構築について」「幼保こ小連携・接続に関するリーフレットの紹介」「教育相談技術認定について」等、各担当係から最新の情報を掲載しました。是非、これからの教育活動にご活用ください。

最後に、新しい生活様式を取り入れて生活する毎日に、少し疲れたと感じる方は、自分を含めて少なくないと思います。そこで、年末に向けて、ここまで頑張ってきた自分に、何でもいいので小さなご褒美をあげてはどうでしょうか。「何にしようか・・・」と考えるだけでも楽しい気持ちになれます。緊張している心も身体もほっこりできる自分へのご褒美を、是非！

(文責：T.S)